

鎌倉市次世代育成支援に関する行動計画の策定に向けた調査

(40歳代・50歳代市民用)

調査ご協力をお願い

皆様には日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

鎌倉市では、子育て支援のための施策を実施していますが、国において平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、次世代育成支援のための具体的な「行動計画」を策定することが定められました。

そこで、鎌倉市でも行動計画の策定に向けて、市民の皆様の子育てに関するお考えやご意見・ご要望などを把握するため、「鎌倉市次世代育成支援に関する行動計画の策定に向けた調査」を実施することとなりました。

この調査は、平成15年12月1日現在の住民基本台帳から40歳代・50歳代の方を無作為に500人抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成16年1月

鎌倉市長 石渡 徳一

ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人が記入してください。
2. 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、その番号を で囲んでください。
3. 回答数は()内の指示に従ってください。
4. 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが()内になるべく具体的にその内容を記入してください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や「ことわり書き」をよくお読みください。
6. この調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
2月2日(月)まで にご投函ください。
7. この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

鎌倉市 こども局推進担当

電話：23 - 3000 (内線2651)

FAX：23 - 2125

最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性

2. 女性

問2 あなたは、平成16年1月1日現在、何歳ですか。(実数で記入してください)

歳

問3 あなたのお住まいはどちらですか。

鎌倉市 _____ 丁目

問4 あなたは、現住所に住まわれて何年になりますか。

年

問5 あなたの就業形態についてお答えください。(は1つだけ)

お勤めの方

- 1. 事務職
- 2. 専門・技術職
- 3. 労務・サービス職
- 4. 管理職

自営の方(家族従業の場合も含む)

- 5. 商・工・サービス業
- 6. 自由業
- 7. 農林漁業

内職・パートをされている方

- 8. 内職・パート(フリーターを含む)

職業をお持ちでない方

- 9. 主婦(家事専業)
- 10. 学生
- 11. 無職

問6 あなたは現在結婚していますか。(は1つだけ)

1. 結婚している(事実婚を含む)

2. 結婚したが離別した

4. 結婚していない

3. 結婚したが死別した

(問6で「1. 結婚している」とお答えの方に)

問6-1 ご夫婦の就労形態は、次のうちどれですか。(は1つだけ)

1. 夫婦とも働いている

3. 妻だけ働いている

2. 夫だけ働いている

4. 夫婦とも無職である

問7 あなたのご家庭は、次のうちどれにあてはまりますか。(は1つだけ)

1. 一人暮らし

4. 親と子ども夫婦(二世世代家族)

2. 夫婦のみ

5. 親と子ども夫婦と孫(三世世代家族)

3. 親と子ども(核家族)

6. その他()

子育て観についておたずねします。

問8 ここ数年、出生率の低下が進み、社会全体で子どもの数が減少している現状がありますが、少子化については何が原因だと思いますか。(は3つまで)

1. 明るい未来が見えないから

2. 子育てよりも自分たちの生活を満足したいから

3. 女性の結婚年齢が高くなったから

4. 女性の社会進出、就業機会が拡大したから

5. 子育てのための経済的負担が大きいから

6. 子育てのための身体的負担が大きいから

7. 将来どう育つか不安になるから

8. 子どもに十分手をかけて育てたいから

9. 子どもを育てるということに魅力を感じないから

10. 住宅事情が良くないから

11. 保育施設、育児休暇などが十分整っていないから

12. 育児に対する男性(夫や家族)の理解や協力が足りないから

13. その他()

14. わからない

問9 現実とは別に、あなたの理想としては何人くらい子どもがいるのがよいと思いますか。

(は1つだけ)

1. 1 人 2. 2 人 3. 3 人 4. 4人以上	5. 子どもはいらない
---------------------------------------	-------------

(問9で1～4のいずれかをお答えの方に)

問9-1 あなたは、何人のお子さんがいらっしゃいますか。(は1つだけ)

1. 0 人 2. 1 人 3. 2 人 4. 3 人 5. 4人以上

(問9-1で理想の子どもの数より少なくなった方におたずねします。)

問9-2 どのような条件があれば、理想の子どもの数を生み育てることができると思いますか。(は3つまで)

1. 子育てのための経済的負担が少なればできる 2. 子育ての肉体的・精神的負担が少なればできる 3. 自分(又は配偶者)の仕事に差しつかえがなればできる 4. 自分(又は配偶者)の仕事や趣味の時間が確保されればできる 5. 年齢的な問題がなればできる 6. 子育ての社会的条件が整っていればできる 7. 住宅事情がよければできる 8. その他()
--

問10 次のAとBのうち、あなたはどちらの考え方に近いですか。(はそれぞれ1つずつ)

A	Aに近い	どちらか といえば Aに近い	どちらか といえば Bに近い	Bに近い	B
育児期は子育て中心に考えるべきである	1	2	3	4	育児期においても個人としての生活を中心に考えるべきである
家庭生活は子ども中心に考えるべきである	1	2	3	4	家庭生活は親中心に考えるべきである

問11 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。お子さんがいらっしゃらない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定してお答えください。(は1つだけ)

- 1. 楽しいと感じることの方が多い
- 2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
- 3. 辛いと感じることの方が多い
- 4. その他()
- 5. わからない

問12 子どもを育てるということについて、どのようにお考えですか。(は4つまで)

- 1. 子どもを育てるのは楽しい
- 2. 子どもを持ち、育てることによって、自分が成長する
- 3. 自分たちの生命を伝える
- 4. 自分の志を継いでくれる
- 5. 次の社会を担う世代をつくる
- 6. 夫婦や家族の結びつきを強める
- 7. 老後の面倒をみてもらう
- 8. 家系を存続させる
- 9. 子どもを育てること自体は楽しいが、負担も生じる
- 10. 自由な生き方ができなくなる
- 11. 仕事や趣味に十分時間がさけなくなる
- 12. フルタイムの仕事がしにくくなる
- 13. 心理的、身体的、経済的負担が重くなる
- 14. その他()
- 15. 特に意味を感じない
- 16. わからない

地域にいる子どもたちに対する、あなたの考え方や接し方についておたずねします。

問13 あなたは、地域の子育て支援について、協力したいと思っていますか。

1. はい

2. いいえ

問13 - 1へ

(問13で「1. はい」とお答えの方に)

問13 - 1 地域の子育て支援について協力するとしたら、どのようなことができますか。

(は2つまで)

1. 町内会のイベントに子どもたちが参加しやすい内容を企画する
2. 近所の子どもに対し、見守りやあいさつなどの声かけをする
3. 子ども危険な遊びに対して注意する
4. 子育て中の夫婦に対して、必要な時に手助けをする
5. 困っている時は気軽に子どもを預かる
6. 青少年の酒・タバコなどの行為に対して注意する
7. その他()

問14 男性が子育てに参加するには、どのような事が必要だとお考えですか。(は1つだけ)

1. 子育てには父親の参加も必要なことを知らせていく
2. 父親が育児や家庭教育の仕方を学ぶ機会を増やす
3. 育児時間・育児休暇等を取りやすい職場環境を整備する
4. 学校教育で男子に育児へかかわることの必要性を教える
5. 仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する
6. その他()
7. わからない

問15 次のような子育てに関する相談や支援を行う機関があることを知っていますか。ア～オについてお答えください。(はそれぞれ1つずつ)

	知っている	知らない
ア. ファミリーサポートセンター	1	2
イ. 子育て支援センター	1	2
ウ. かまくら子育てメディアスポット	1	2
エ. 教育センター	1	2
オ. 児童相談所	1	2

問16 子育てをする上で、身近な地域の人たちは、どのようなことをするのがいいと思いますか。
(は3つまで)

- 1 . 危険な遊びやいじめを見かけたら注意する
- 2 . 良いことをしているの見かけたらほめる
- 3 . 遊びやスポーツの相手をする
- 4 . 子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事の機会を多く作る
- 5 . 子育てについて、助言をしたり相談にのる
- 6 . 緊急なときなどに子どもを一時預かる
- 7 . その他 ()
- 8 . 特にない

子どもたちを健やかに育てていくためには、どのように支援していくことがよいのか
おたずねします。

問17 子どもが、健康に育つことができるようにするために、どのようなことが大切だと思いますか。(は3つまで)

- 1 . 規則正しい生活リズムを身につける
- 2 . きちんとした食生活ができる
- 3 . 親子のコミュニケーションがとれている
- 4 . 乳幼児の事故防止についての対策と学習機会の拡充
- 5 . 予防接種の適切な実施
- 6 . 病気の診断・治療、相談、予防などに対する小児医療の充実
- 7 . 小児緊急医療体制の充実
- 8 . 安全に遊ばせることのできる公園や児童館の整備
- 9 . 子育てについての相談ができる場がある
- 10 . 周囲の人が気軽に声をかけ、協力する
- 11 . 育児サークルの育成と活動支援の充実
- 12 . その他 ()
- 13 . わからない

問18 子どもを健やかに生み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。

(は3つまで)

- 1 . 延長保育や低年齢児保育等、保育サービスの充実を推進する
- 2 . 妊娠・出産・子育てについての不安や悩みを相談できるような窓口を増やす
- 3 . 出産や子育てに対する経済的な負担を軽減する
- 4 . 家事・育児などに対する「男女共同参画」の意識づくりを行う
- 5 . 育児休業制度や子育て後の再就職制度を普及させる
- 6 . 労働時間の短縮等を推進する
- 7 . 子どもや妊産婦への健診などの保健事業や医療サービスを充実する
- 8 . 体験学習や地域活動などの子どもが健全に育つための施策を充実する
- 9 . 子どもが健やかに育つような住環境の整備を推進する
- 10 . 子ども連れでも安全で活動しやすい、ひとにやさしいまちづくりを進める
- 11 . ボランティアの育成など民間活動を支援する
- 12 . その他 ()
- 13 . 特にない

問19 最後に、鎌倉市の子育て支援施策に関して、ご意見・ご要望がありましたら自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、2月2日(月)までにご投函ください。